

■欧州：欧州委員会、「エネルギー同盟」の政策方針を発表

欧州委員会は2015年2月25日、EUが構築を目指す「エネルギー同盟」の政策方針に関する文書を発表した。「エネルギー同盟」とは、欧州委員会が優先課題のひとつに掲げる政策的枠組みであり、その構想の下で、エネルギー安全保障、域内単一エネルギー市場形成、エネルギー効率化、低炭素経済、研究開発という相互補完的な5つの課題を、EU加盟国が一体となって目指していくことがうたわれる。今回の政策文書の中で、欧州委員会は、電力・ガス事業、エネルギー・インフラ、再エネ・省エネ、気候変動政策など様々な政策分野における2015年以降の行動計画を示しており、その中には、2030年に向けた新たな再エネ指令の提案なども含まれる。また、今回は「エネルギー同盟」の戦略的方針に関する政策文書に加え、電力国際連系線の拡充に関する政策文書、パリ気候変動会議(COP21)における国際合意に向けた、EUの気候変動政策と温室効果ガス排出削減目標に関する政策文書も、個別に発表されている。